

通所介護事業所ZEN です。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当施設では、介護保険制度の目的のままを方針としております。
- ・個々のニーズに合わせて、住み慣れた地域での在宅生活を継続できるように個人の残存能力を生かした日常生活の支援に努めております。
- ・掃除、洗濯、調理等（自分たちが今までしてきたことをする）の当たり前な生活（自立、幸せ）の継続を日々職員と利用者様が一緒に模索しております。
- ・宿泊サービスも含めた23名定員のデイサービスで、『一日笑って、一日楽しく、一日円満に』を理念に年中無休で職員が力を合わせている、小さな施設です。
- ・毎週月曜日と木曜日にはヨガの先生を、毎週土曜日には機能訓練士の先生をお呼びし、日常生活動作の確認を行っております。また、毎週金曜日には茶道の先生を招いての茶道教室も行っております。



建物外観



建物2階からの景色

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

通所介護事業所ZEN

住所：〒985-0802 宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山 5-12

電話：022-349-5613 / ファクシミリ：022-349-5614

塩釜
地区

リハビリネットワーク通信 第26号

(平成31年3月発行)

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503（直通）

Qにお答えします

Q. 貴施設のパンフレットに「住み慣れた自宅において生活の質(QOL)が維持向上できるよう日常生活機能訓練が日帰りで行われます。」とありますが、具体的にどのようなことが行われているのか、その際心掛けていることなどあればお教えください。
(仙塩訪問看護ステーション)

A. 利用者様が今まで行ってきた日常生活の活動（掃除、洗濯、調理、食器洗い等）をそれぞれでできる範囲で行っていただいております。
その際は、御本人のやり方で行っていただけるようにすることと、行っていただいたことに感謝を忘れないように心掛けています。

ボタンでつながろう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：デイサービスひかり
さんへボタンタッチ

●質問コーナー●

Q. 利用者様との一番印象深いエピソードを教えてください。

「リハビリし 動かすたびに 目に涙」(通所利用者様)

【解説】リハビリで、骨折した箇所を動かすのが痛くてつらい心情を詠みました。

「いやなかお リハビリ後は 超笑顔」(介護福祉士)

【解説】始める前はリハビリが大変なので嫌な顔をされますが、いざ始まって終わるとすばらしい笑顔になっていました。

「風呂入り 鏡見るたび 我かえる」(通所利用者様)

【解説】お風呂の鏡で自分の姿を見るたびに、もつとりハビリを頑張らないとという気持ちを詠みました。

リハビリ川柳